

いそがしうゝさか  
あぢ下のふら戸と  
おとし出さ

葉のとりや若穂かさこの  
神 松  
玉屑

文匨中し二葉よきうみ秋の色  
青皮

あはれとあつて  
まかここゆか

こやまゆしありのまのまゆ  
知雄

中福をかきもろ葉よむ恋  
可深

まむありを乳まきく口可  
睦菜

花葉中あやう少月ひり  
伴虎

とくくまらりとろ流をく  
小風

席上

かんおを啼やひよと波は  
雄剛

まむふ世はあのをまき  
渭原

まはゆえあまや麻あれ都  
之出

溜くけそ陽凡把す口月  
凡村

まはねのく月あまき  
杜茂

夏のまきう宵まき  
橋玉

まはれと田子れ  
白岩

乙卯